

# 土間引戸用シャッター



下地部材仕様の枠カバーの形状変更により、シーリング方法を変更しました。  
「枠まわりのシーリング」を参照ください。  
(→P.25 参照)

## シーリングは必ず実施してください!

「シーリングマーク」で表示している箇所のシーリングは必ず行ってください。  
シーリングがされないと、漏水の原因となったり、家屋や家財を傷める  
など**重大事故につながるおそれ**があります。



本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。  
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。  
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。

## 目 次

■組立・施工の前に	1
直付型	2~6
壁付型	
■取付ける前に	7
[枠カバー仕様]	8~15
[枠カバー・下地部材仕様]	16~25

## ■組立・施工の前に

このたびは、YKKAP商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

### 組立・施工の前に…

商品を正しく組立・施工していただくために、説明書の内容をご確認ください。

商品の組立・施工については必ず本説明書に従ってください。

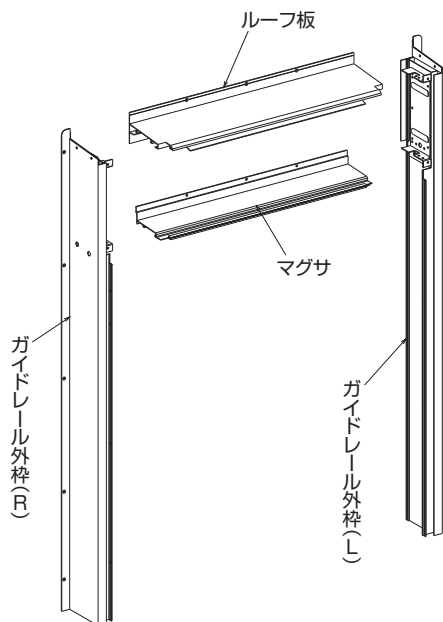
### 組立・施工の後に…

取扱説明書・使い方&お手入れガイドブックを施主様に渡すようお手配ください。

## お願い

- 木造用のため、ALC鉄骨造・RC造には取付けられません。
- 取付開口部の水平・垂直、対角寸法およびねじれないことを確認してください。  
取付開口部の精度が悪いと商品本来の機能を発揮できず、家屋の損害の原因となります。
- シーラーなどの水密部品は説明書に従って組立ててください。  
サッシからの漏水は家屋を傷め、施主様から賠償を求められることがあります。
- 組立は、所定のねじを使用して最後まで締め付けてください。  
締め付け不良は漏水や事故の原因となります。
- シャッター本体を取付ける前に、枠の水平・垂直が出ているか確認してください。  
枠の水平・垂直が正しくないと、シャッターの開閉に支障をきたします。
- ガイドレールおよびシャッターケースの点検口は、メンテナンス時取りはずしができるようにしてください。  
特に入隅ではご注意ください。
- 商品周辺の防水処理と商品本体のシーリングは説明書に従って必ず行ってください。  
漏水は、家屋や家財を傷める原因になります。
- モルタル等の抽出液が工事中にシャッターの表面に流れないようにしてください。  
外観不良(しみ、むら)や腐食の原因となります。  
また、シャッター表面にキズをつけると、腐食しやすくなりますので、取扱いには十分ご注意ください。

## ■全体構成



直付型

## ■同梱包部品一覧

表を参照のうえ、部材・部品の有無をご確認ください。

また、表中の○印の番号は本文中の組立・取付図の番号と連動しています。

番号	①	②	③	④	⑤
姿図					
品名	中トラスタッピンねじ2種 (φ4×35)	穴塞ぎキャップ	皿木ねじ (φ3.1×25)	位置決めブロック	透湿防水シート
品番	BM-4035GD8	K-33675	WF-3125	2K-21439	K-48847
個数	8	4	10~26	2	1
備考	枠組立用		枠取付用	マグサ位置決め用	
	ねじ袋①		ねじ袋②	ねじ袋②	同梱包

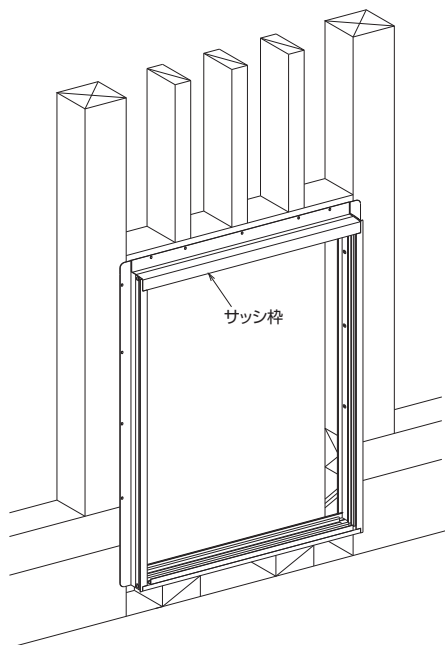
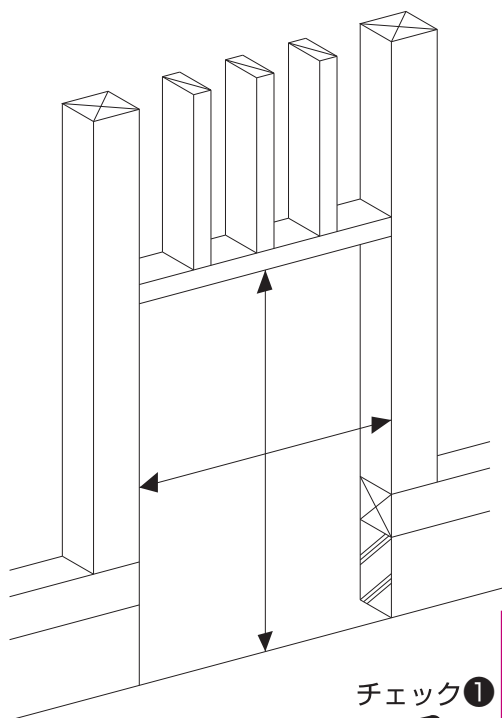
## ☞ チェックシート

P.6にチェックシートとして、重要事項を記載しています。  
作業後、各項目の確認を必ず行ってください。

## ■サッシ枠の取付

開口部の水平・垂直・面違いを確認し、  
必要に応じて添材を打ちつける等調整  
を行ってください。

サッシ枠を別途組立・施工説明書に従って  
取付けてください。



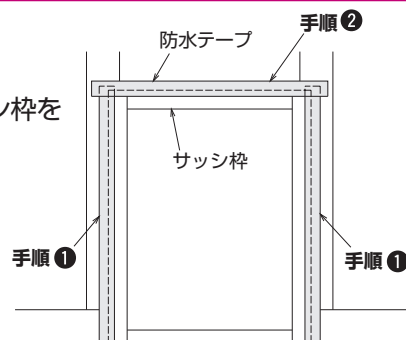
### チェック①



シャッターを施工する前に

- サッシ枠の取付精度の確認  
精度が出ていない場合はサッシ枠を取付けなおしてください。
- 防水テープの確認

### 注意

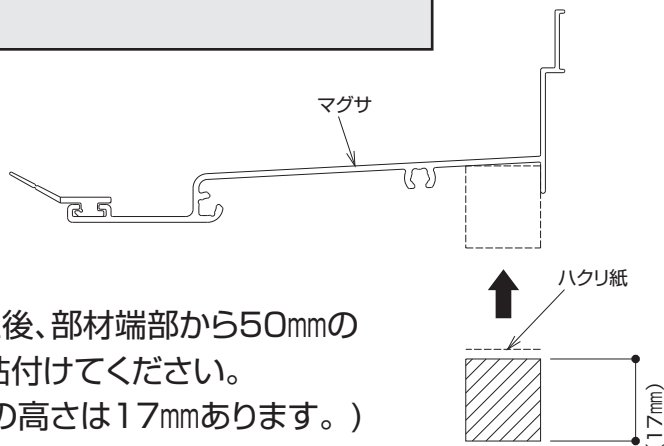


## ■シャッター枠の組立・取付

ここでは、シャッターを一部材ずつ取付ける方法を説明します。  
シャッターを三方組んでから取付ける場合にも、この内容を確認しながら作業を進めてください。

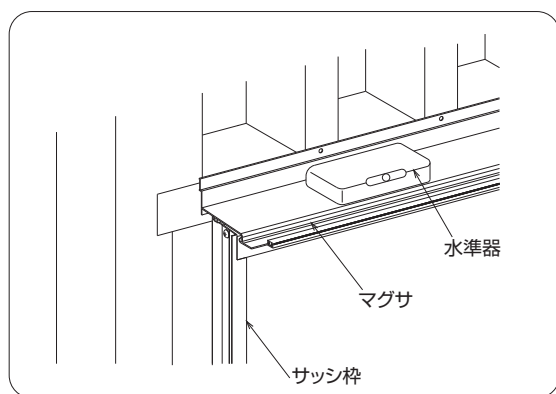
### 1. マグサの取付

- 1 マグサ下面に位置決めブロックを貼付けてください。



ハクリ紙をはがした後、部材端部から50mmの位置を目安にして貼付けてください。  
(位置決めブロックの高さは17mmあります。)

- 2 マグサの左右の出寸法を同じにしてから 躯体にねじで固定してください。



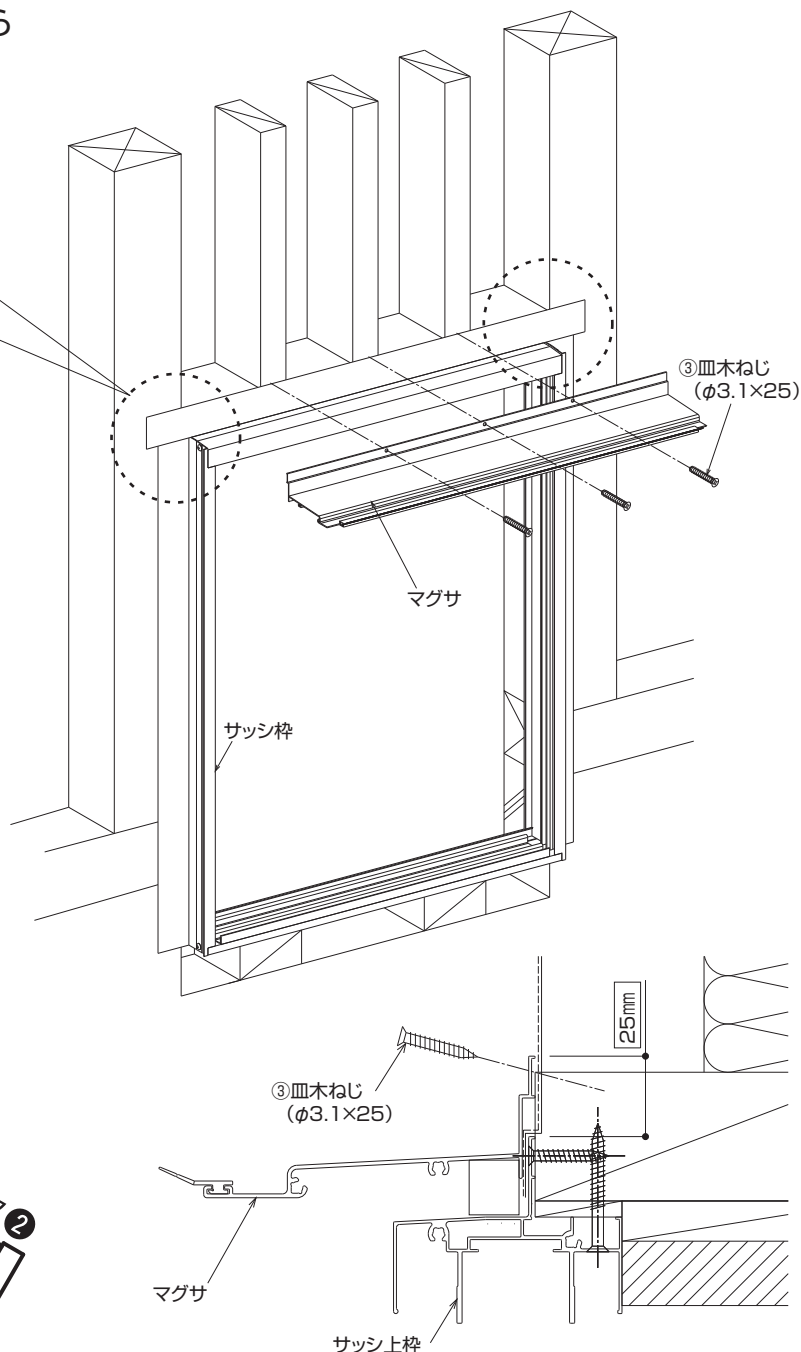
### ポイント

マグサの水平は必ず水準器で確認してください。

### 注意

シャッター枠組立・取付時、電動ドライバー・エアドライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。

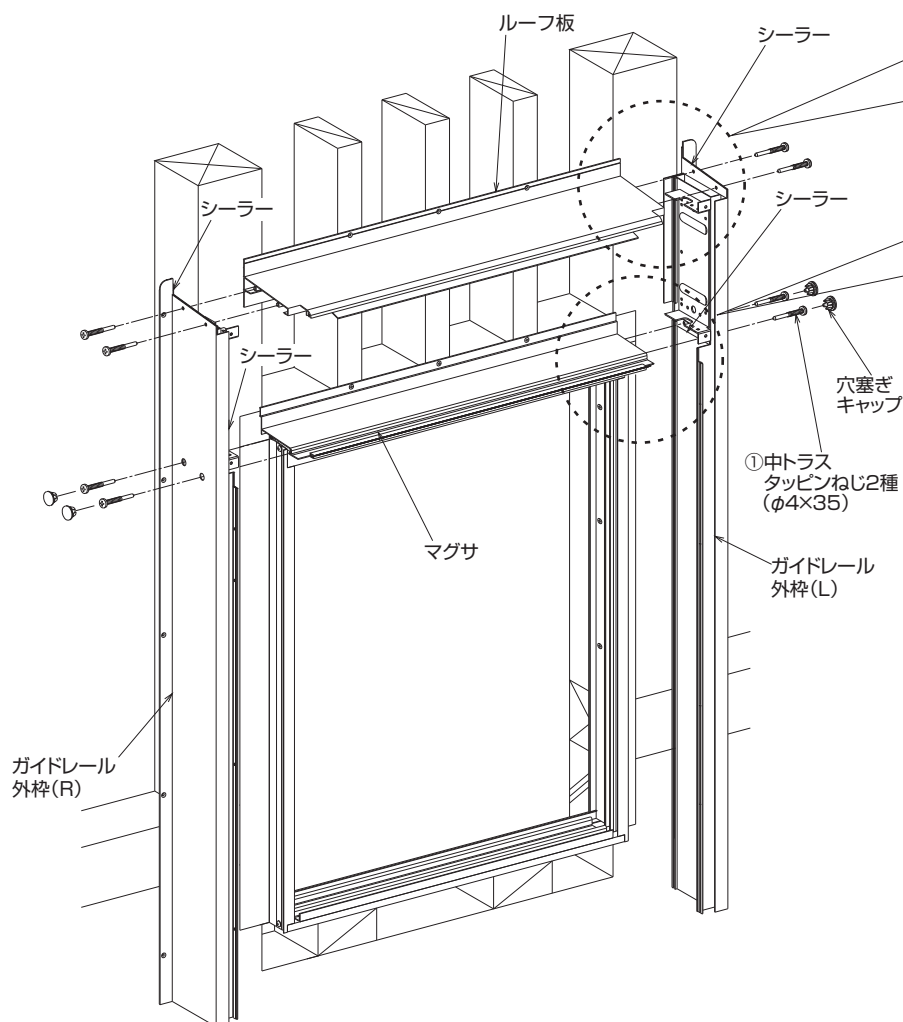
シャッター枠：**2.0~2.5N・m**  
(**20~25kgf・cm**)  
程度



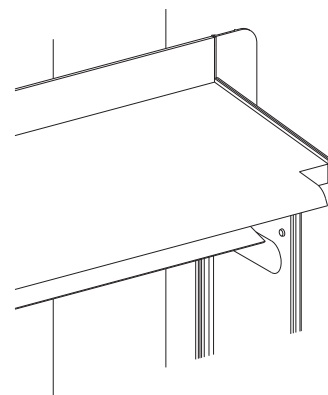
# 4 直付型 シャッター枠の組立・取付

## 2. シャッター枠の組立

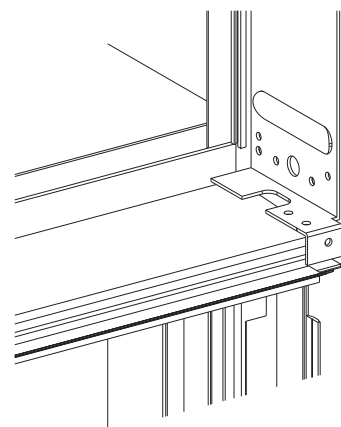
- 1 マグサとガイドレール外枠を組立ててください。
- 2 ガイドレール外枠とルーフ板を組立ててください。



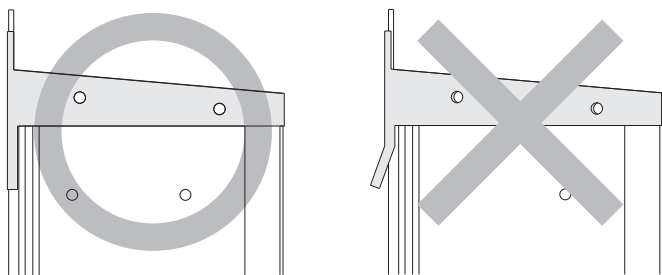
### ルーフ板・ガイドレール外枠部



### マグサ・ガイドレール外枠部



### 注意



シーラーの位置ずれ、折れ曲がりがないこと。



### ポイント

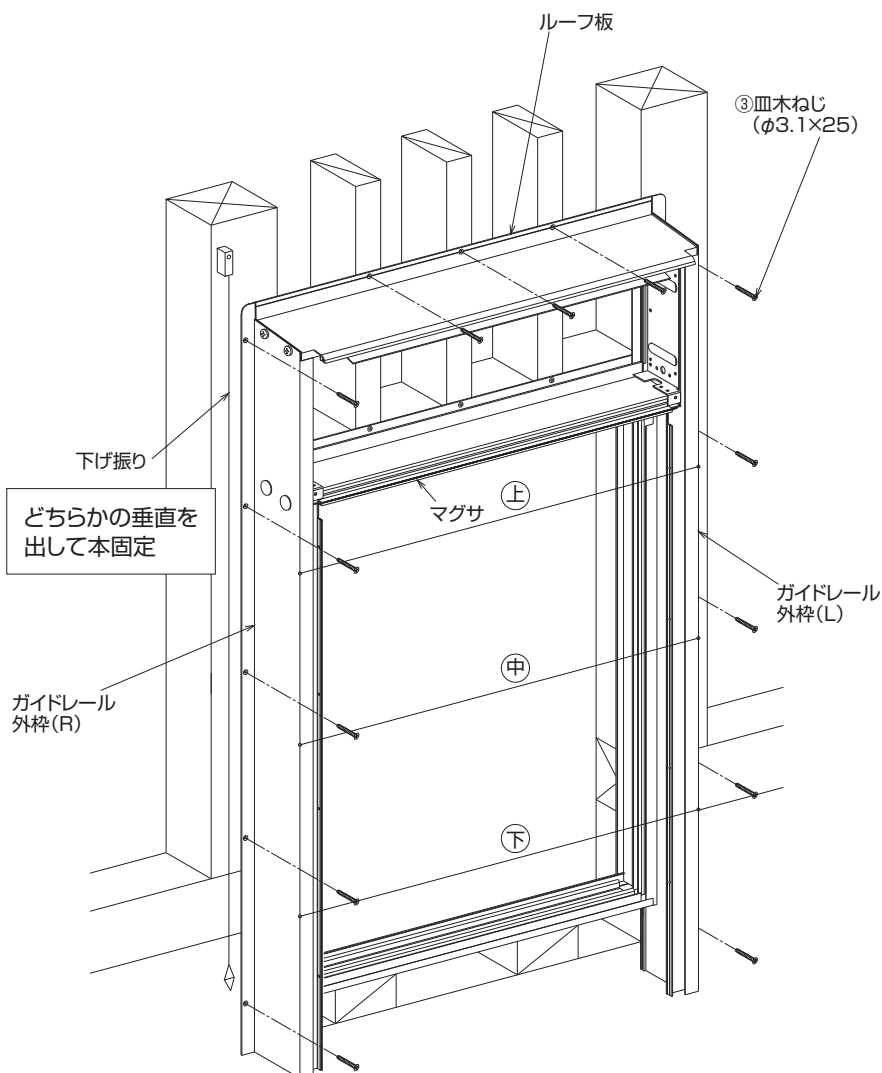
ガイドレール外枠が長すぎる場合は下部を切断してください。

### 3.ガイドレール外枠・ルーフ板の取付

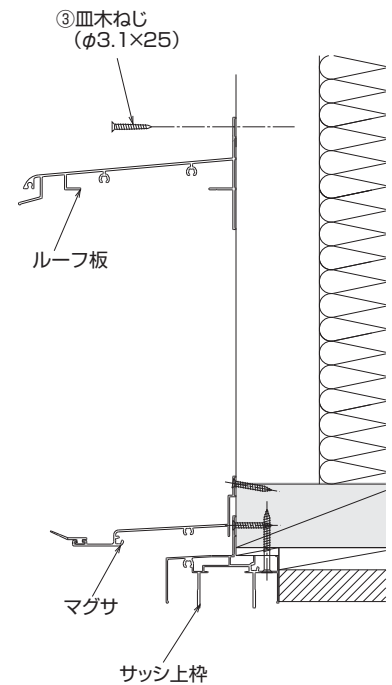
- ① どちらか一方のガイドレール外枠を下げ振り等を用いて垂直を出して固定してください。
- ② ガイドレール外枠の外々寸法を確認しながらもう一方のガイドレール外枠を躯体に固定してください。
- ③ ルーフ板を躯体に固定してください。

#### お願い

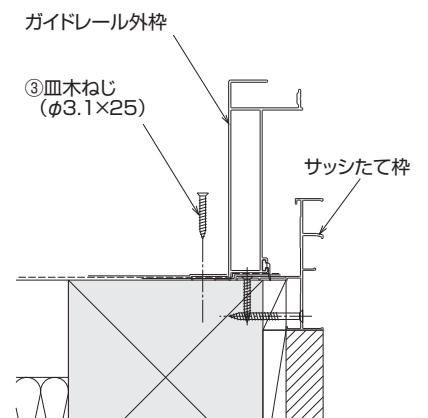
ガイドレール外枠の外々寸法を上・中・下の3ヶ所測定し、その差が2mm以内であることを確認してください。  
 そうでない場合は、再度取付け直してください。  
 寸法が正確でないとシャッターの開閉に支障をきたしますので特に注意が必要です。



#### マグサ・ルーフ板部



#### ガイドレール外枠部



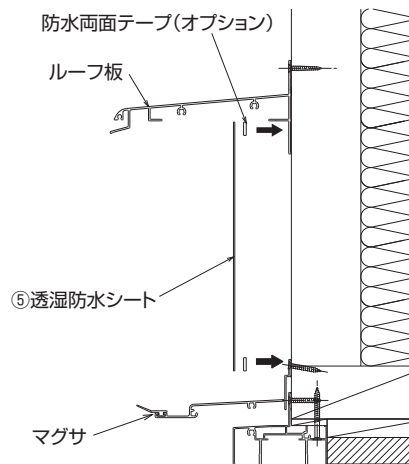
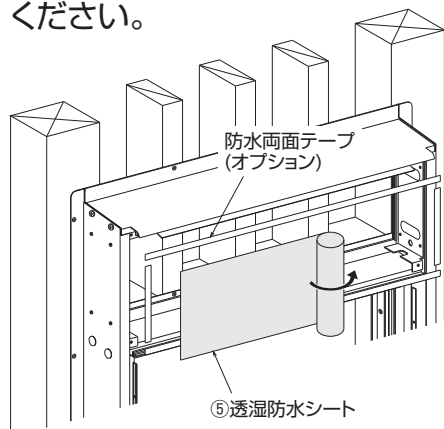
# 6 直付型 土間仕上げ、防水処理、チェックシート

直付型

## チェック⑥ サッシを取付けされる方へお願い



シャッター本体取付部躯体側に、枠に同梱包の透湿防水シートを貼ってください。余ったシートは切り取ってください。

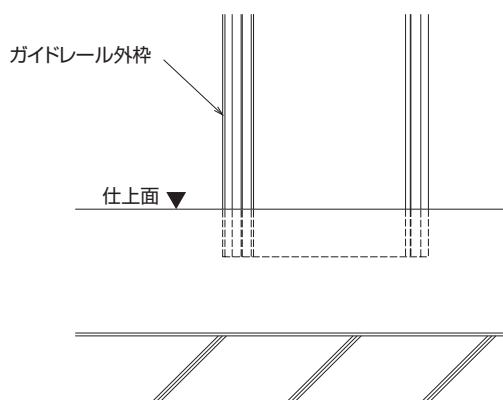


## ■土間仕上げ

土間を仕上げてください。

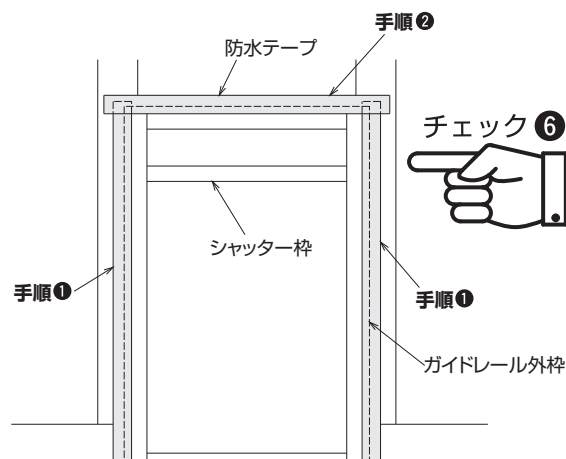
※ガイドレール下端は埋め込まないでください。

詳しくは、ガイドレール施工説明書をご覧ください。



## ■防水処理

取付後、シャッター枠まわりに防水テープ(別途)を貼ってください。



## チェックシート

作業時、下記項目の確認をしてください。

項目	チェック欄
① サッシ枠まわりに防水テープを貼付けましたか?	
② トルク調整をしましたか?	
③ シーラーの位置ずれ・折れ曲がりはありませんか?	
④ ガイドレール外枠の外々寸法は確認しましたか?	
⑤ 透湿防水シートを貼付けましたか?	
⑥ シャッター枠まわりに防水テープを貼付けましたか?	



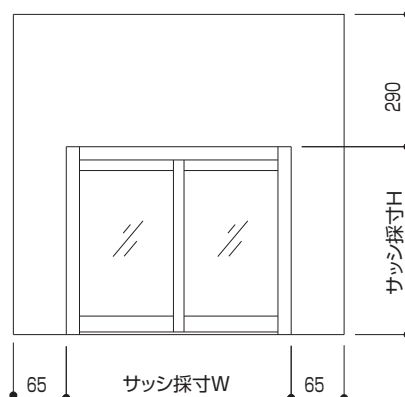
## ■取付ける前に

チェック



### ●取付ける前に以下の内容を確認してください。

- ① 本商品は木造用のため、ALC鉄骨造・RC造等の躯体には取付けできません。
- ② 隣地境界まで余裕のない所には取付けできません。  
取付け可能な外壁は、モルタル、窯業サイディングです。
- ③ (金属サイディングの場合には下地部材の使用をおすすめします。)
- ④ ラップサイディング等、凹凸が激しく平坦でない面、突起物がある場合には取付けられません。
- ⑤ 本商品はシャッター取付け面からの既設サッシ出寸法80mm以下に対応します。これ以上ある場合は、下地部材を使用してください。下地部材を使用することで105mmまで対応できます。
- ⑥ 本商品の取付けには右記のスペースが必要です。また、それ以外に作業スペースが必要です。
- ⑦ シャッター枠および下地部材ねじ止め位置には柱が必要です。柱の位置、寸法を確認してください。  
外壁部分だけで固定することは絶対に行わないでください。
- ⑧ 入隅にサッシを取付ける場合、サッシたて枠の固定を添柱にすることがあります。シャッターたて枠が柱に固定できない場合、強度不足となりますので取付けられません。



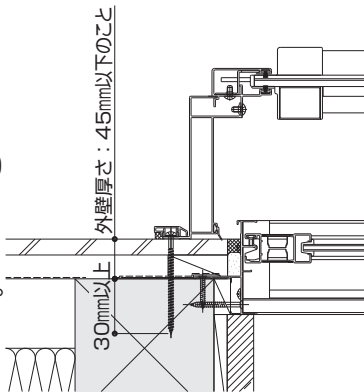
チェック



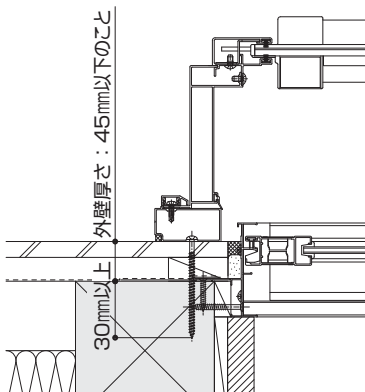
### ●シャッター取付強度確保のため、以下の事項を厳守してください。

- ① シャッター枠および下地部材の取付ねじの位置には柱が必要です。建築図面等で窓まわりの柱の位置、寸法、外装材の厚さ等を確認してください。図面がない場合や図面から読み取れない場合は、打診および柱探知機等を利用した現場での確認が必要です。  
取付ける柱が確認できない場合は、本商品を使用しないでください。  
取付ねじが柱に固定されないと脱落事故につながります。
- ② 対応外壁厚は45mm以下です。45mm以上ですと、付属ねじが躯体に十分効かないため取付けできません。躯体へのねじ込み深さは、30mm以上確保してください。
- ③ 強度確保のため、必ず指定のねじを指定の本数で取付けてください。また、取付穴位置に柱がない場合には、穴位置をずらすなどして必ず柱に取付けてください。

【枠カバー仕様】



【枠カバー・下地部材仕様】

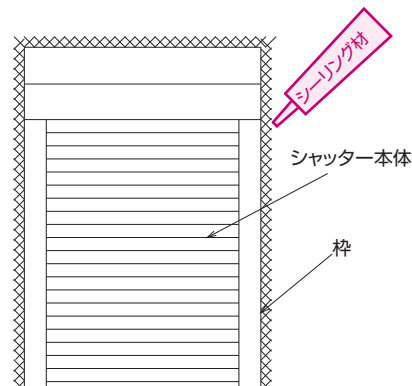


チェック



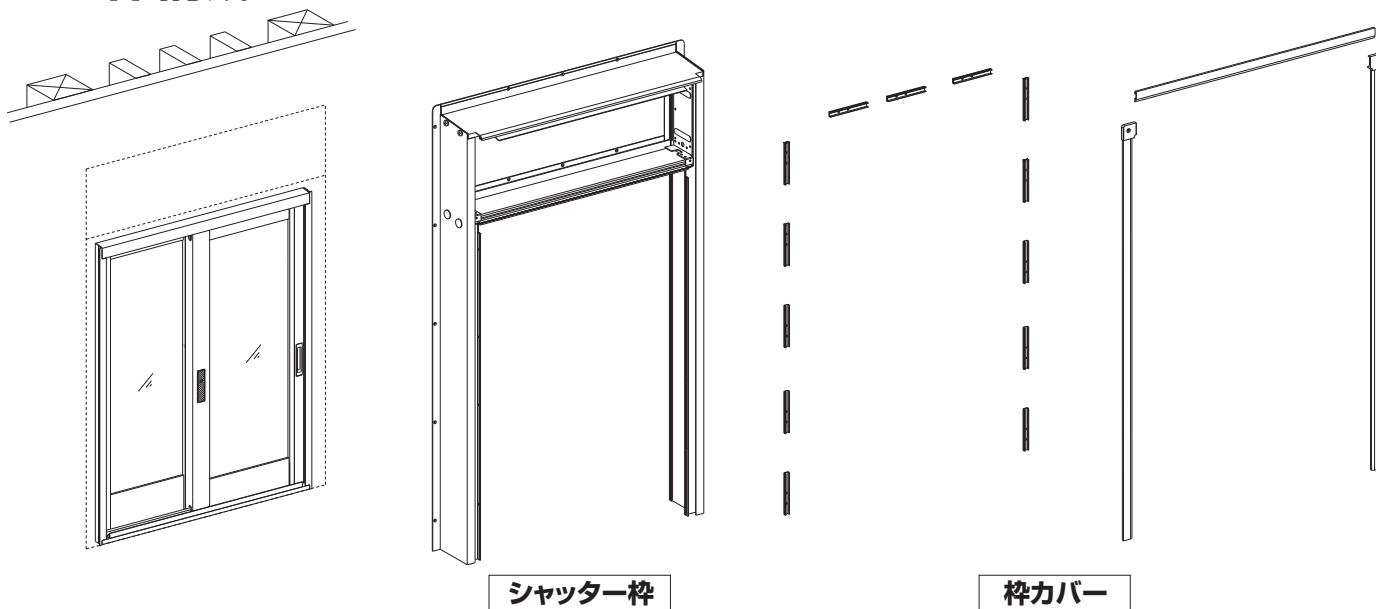
### ●雨漏り防止のため、以下の事項をお守りください。

- ① 本商品を取付ける前に、必ずサッシまわりのシーリングのキレ、外壁の割れまたは、漏水の跡がないことを確認のうえ、施工してください。
- ② 躯体へのねじ止めは必ずφ3.5ドリルで外壁に下穴をあけてから行ってください。また、必ず下穴にシーリング材を充てんした後、ねじ止めしてください。
- ③ 本商品を取付ける際は、必ず指定箇所にシーリングしてください。
- ④ 枠まわりのシーリングを行う前にシーリング材がきちんとおるように下地処理を必ず行ってください。  
(被着体に適合したプライマーをご使用ください。)



# 8 壁付型 [柵カバー仕様] 全体構成、同梱包部品一覧

## ■全体構成



## ■同梱包部品一覧

表を参照のうえ、部材・部品の有無をご確認ください。  
また、表中の○印の番号は本文中の組立・取付図の番号と連動しています。

### シャッター枠

番号	①	②	③	④
姿図				
品名	中トラスタッピンねじ2種 (φ4×35)	穴塞ぎキャップ	皿木ねじ (φ3.1×25)	防水シート
品番	<b>BM-4035GD8</b>	<b>K-33675</b>	<b>WF-3125</b>	<b>K-48847</b>
個数	8	4	10~26	1
備考	柵組立用		柵取付用	
	ねじ袋①		ねじ袋②	同梱包

※壁付型では、位置決めブロックは使用しません。

### 柵カバー

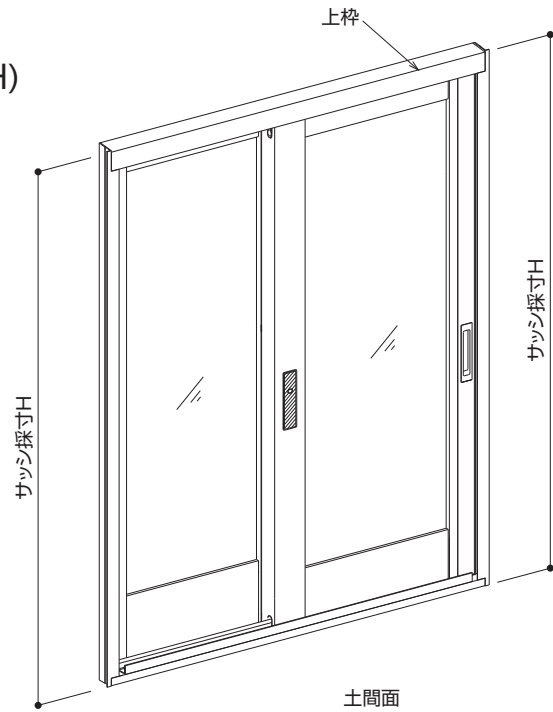
番号	⑤	⑥
姿図		
品名	柵カバー連結材	なべコーススレッドねじ (φ4.2×75)
品番	<b>3K-19101</b>	<b>3K-19100</b>
個数	9~20	10~26
使用箇所	柵カバー取付用	柵取付用
備考	ねじ袋②	ねじ袋②

## 👉 チェックシート

P.14にチェックシートとして、重要事項を記載しています。  
作業時、各項目の確認を必ず行ってください。

## ■シャッター枠、枠カバーの切断

- 1 サッシ上枠から土間面までの寸法(=サッシ採寸H)をサッシ両側共測定してください。

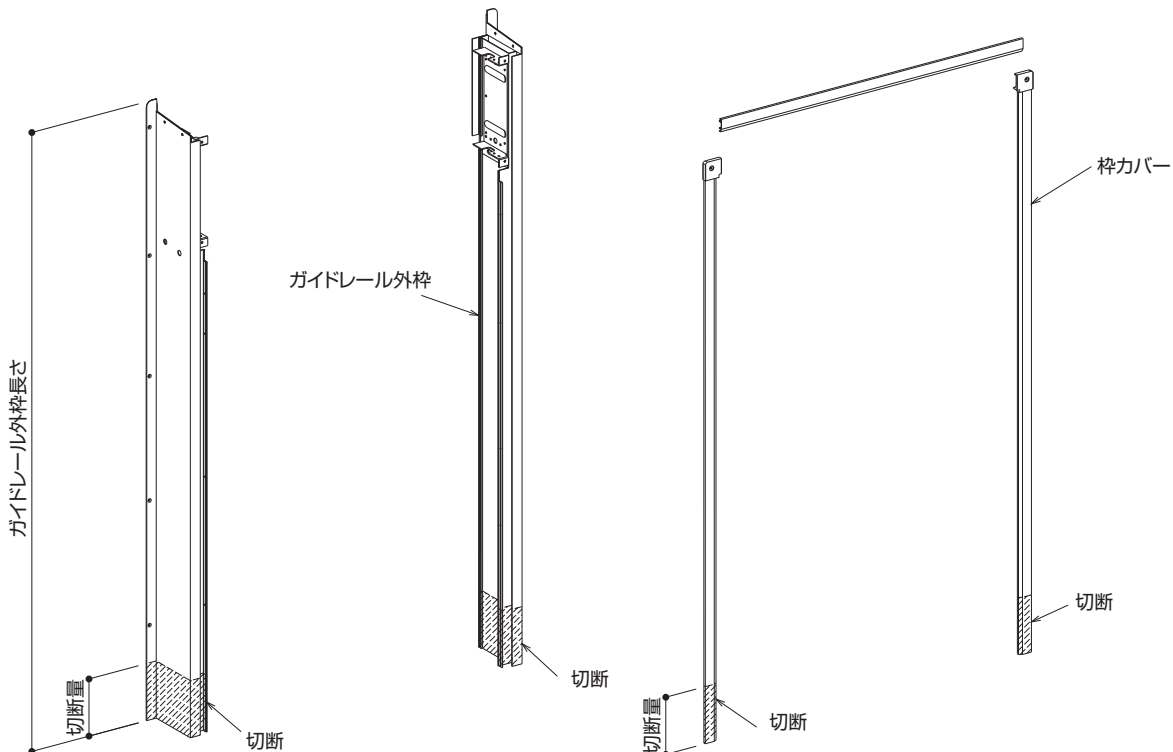


- 2 左右のガイドレール外枠をそれぞれ取付ける側の採寸Hを参考にして切断してください。

### ポイント

土間面に勾配がついている場合には、それに合せた角度で切断してください。

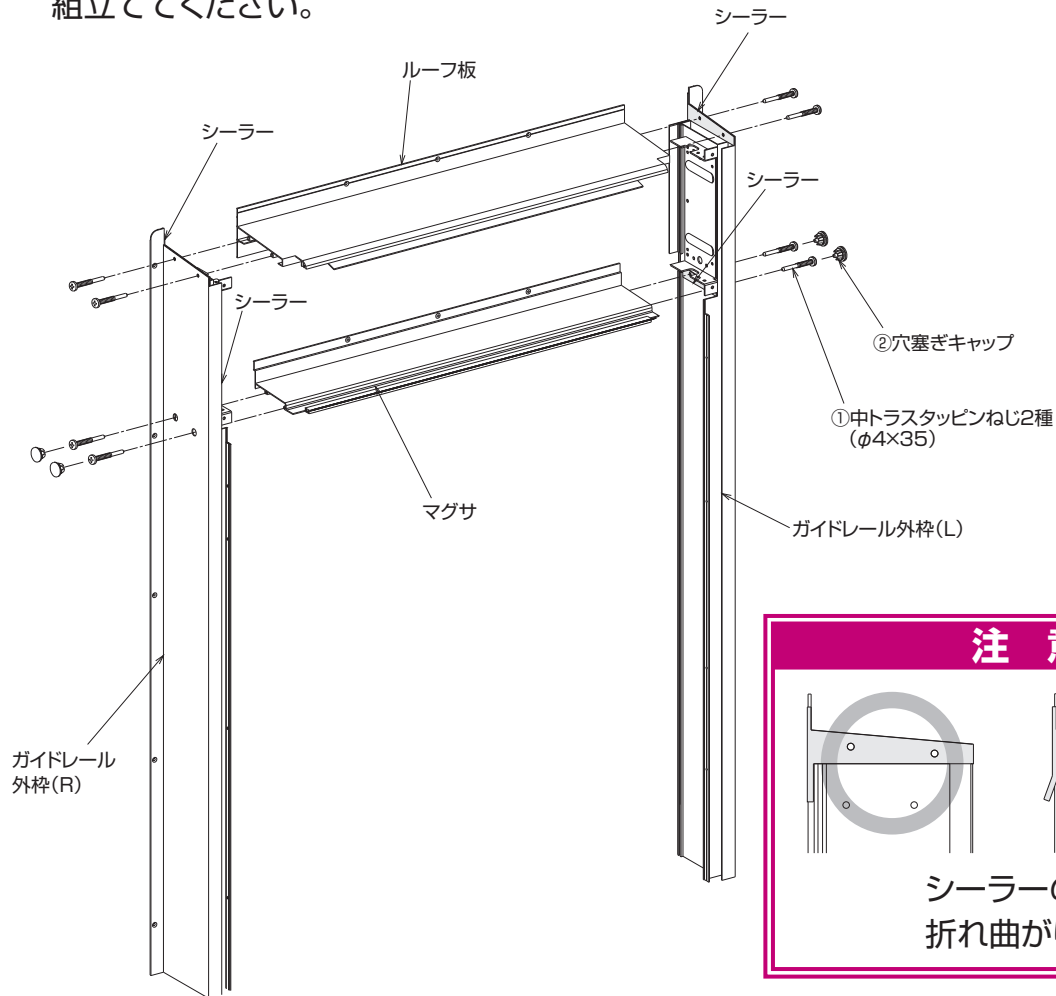
切断量  
=手配品のシャッターh寸法-サッシ採寸H-10  
または、  
切断量  
=ガイドレール外枠長さ-サッシ採寸H-270



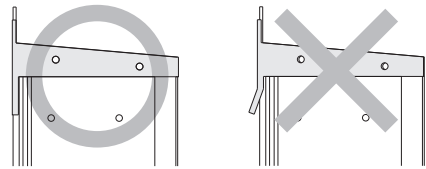
枠カバーも同様に切断してください。

## ■シャッター枠の組立

- ① ガイドレール外枠とマグサ、ルーフ板をぴったり合せ、適正トルクでねじ止めして組立ててください。



### 注意



シーラーの位置ずれ、折れ曲がりがないこと。



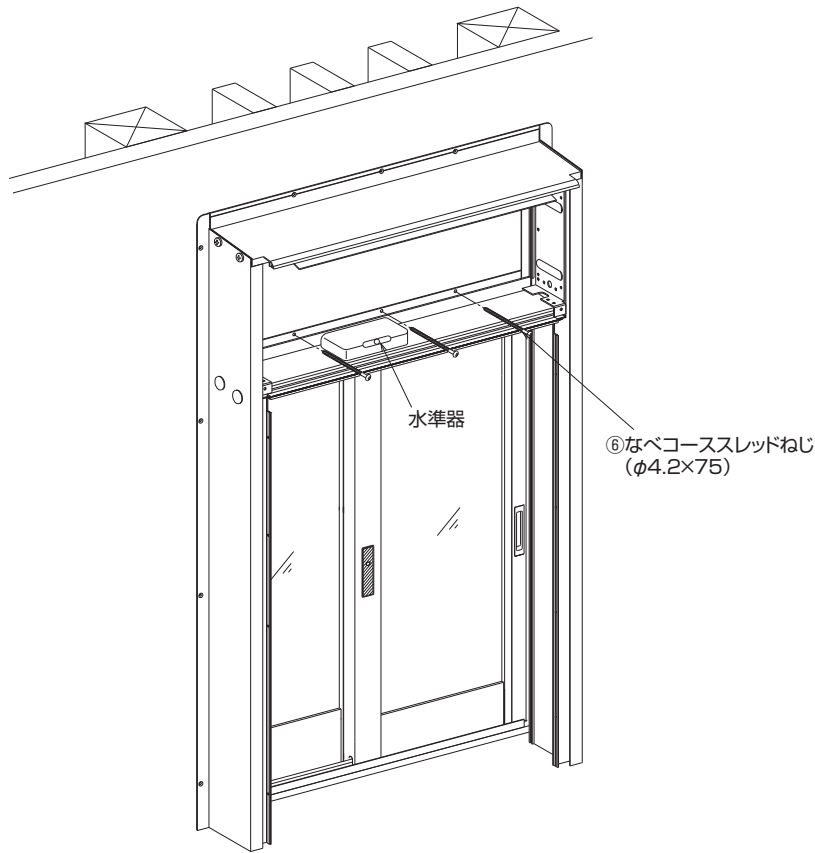
### 注意

- シャッター枠組立・取付時、電動ドライバー・エアドライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。  
下地部材、シャッター枠：2.0～2.5N・m(20～25kgf・cm)程度
- 金属サイディングの場合は、表面がへこまない程度まで締め付けてください。



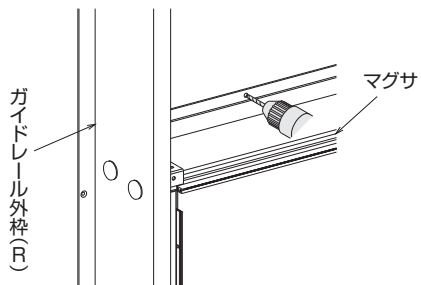
## ■シャッター枠の取付

- 1 サッシ枠とシャッター枠の左右のすき間を均等にして、土間の上に仮置きしてください。
- 2 マグサの水平を水準器で確認しながらねじ止めしてください。

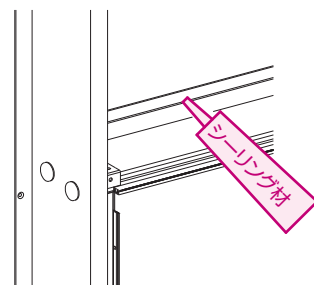


### 躯体へのねじ止め要領

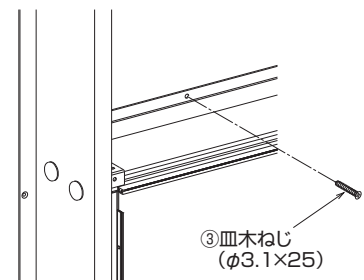
- ① 躯体にφ3.5ドリルで下穴をあけてください。



- ② 下穴にシーリング材を充てんしてください。

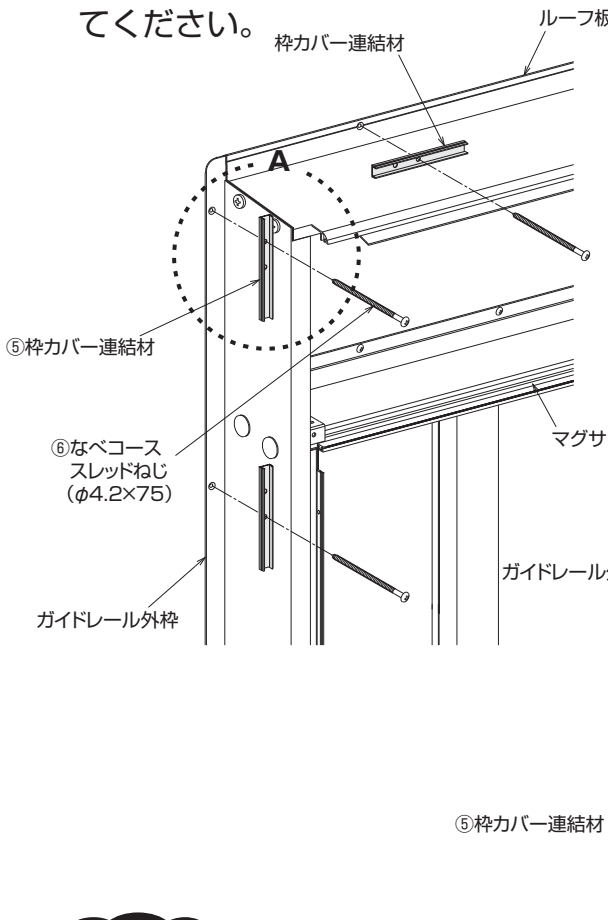
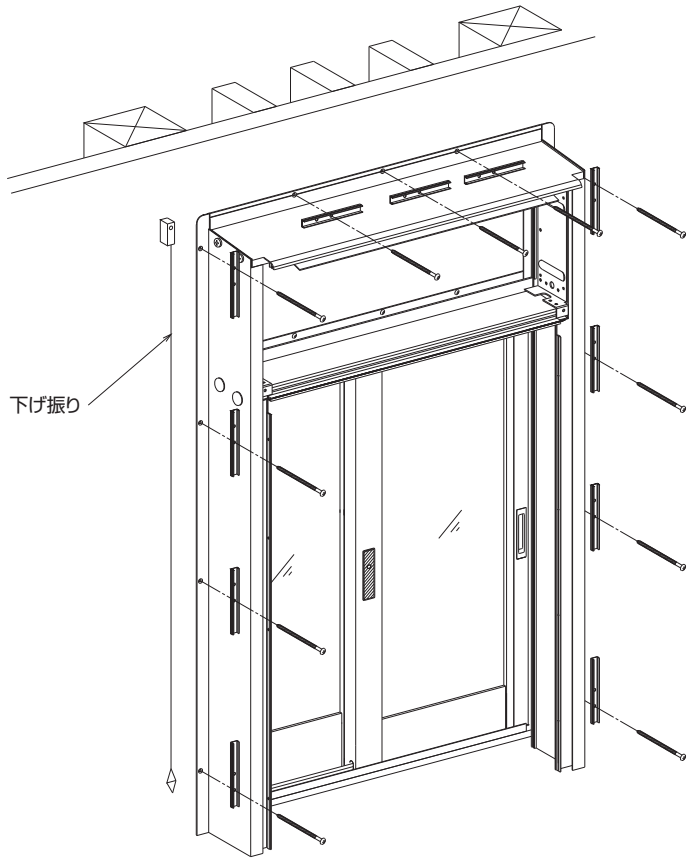


- ③ ねじ止めしてください。



# 12 壁付型 [枠カバー仕様] シャッター枠の取付

- 3) どちらか一方のガイドレール外枠を下げ振り等を用いて垂直を出して固定してください。
- 4) ガイドレール外枠の外々寸法を確認しながらもう一方のガイドレール外枠ならびにルーフ板をねじ止めしてください。  
(P.12 **躯体へのねじ止め要領**を参照してください。)
- ※この際、枠カバー連結材をねじで共締めしてください。

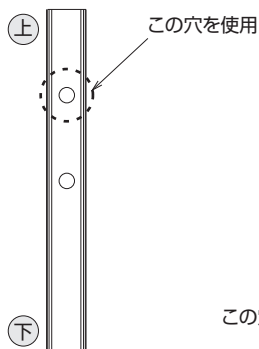


壁付型 [枠カバー仕様]

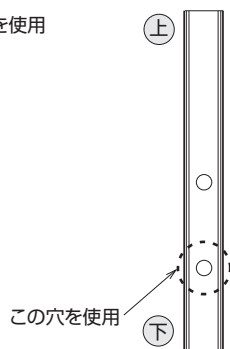
## ポイント

- 枠カバー連結材はヒレに沿ってまっすぐに取付けてください。
- たて上・下の枠カバー連結材は図のように取付けてください。  
その他は真中の穴を使用してください。

A(たて上部)



B(たて下部)

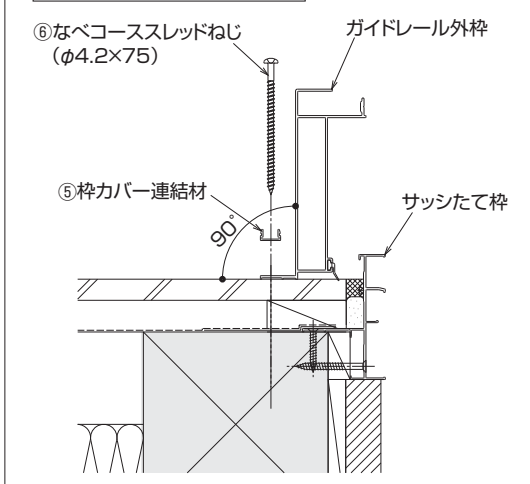


## お願い

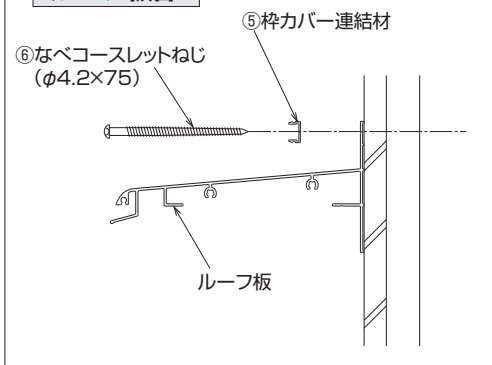
- 取付穴の位置に柱がない場合には、穴位置をずらすなどして、必ず柱に取付けてください。
- シャッター枠は、下げ振り等で垂直を確認し、壁面と垂直になるよう、かいもの等で調整してください。
- 枠の水平・垂直が正しくないとシャッターの開閉に支障をきたします。特に注意してください。



## ガイドレール外枠部



## ルーフ板部

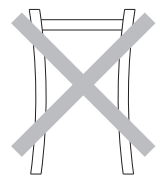
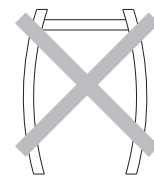
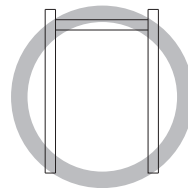
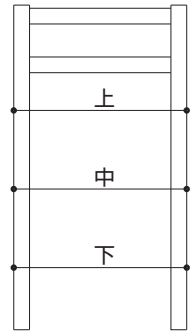


⑤ 取付後、ねじのゆるみやがたつき、その他使用上、危険な箇所がないか点検してください。

## お願い

ガイドレール外枠の外々寸法を上・中・下の3箇所で測定し、その差が2mm以内になっているか確認してください。そうでない場合は、再度取付け直してください。

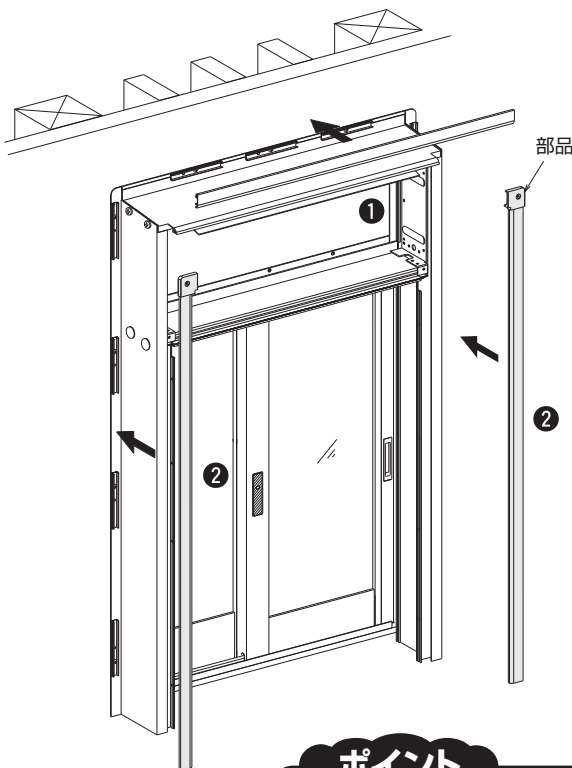
チェック⑤



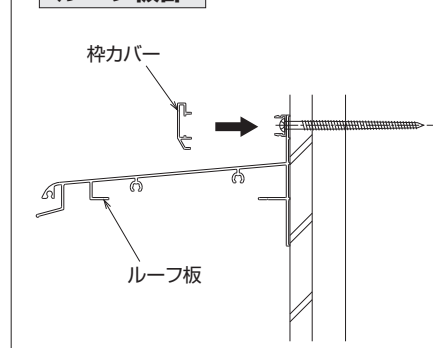
## ■ 枠カバーの取付

①横カバー②たてカバーの順に枠カバー連結材にはめ込んでください。(たてカバーには部品が付いています)

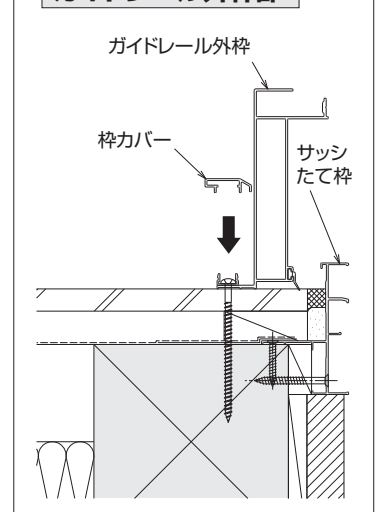
※横カバーは、左右のチリが均等になるようにしてはめ込んでください。



## ルーフ板部



## ガイドレール外枠部

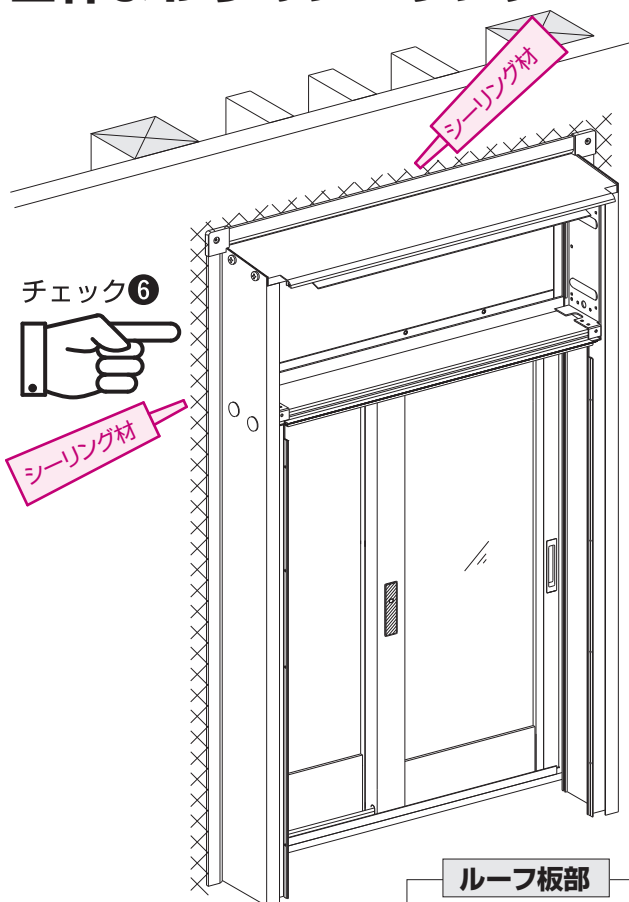


## ポイント

枠カバーが確実に枠カバー連結材にはめ込まれたことを確認してください。

# 14 壁付型 [枠カバー仕様] 枠まわりのシーリング、チェックシート

## ■ 枠まわりのシーリング



きちんと接着するよう、枠まわりの下地処理(プライマー等)を十分に行ってから、シーリング(上・たての三方)をしてください。  
※シーリングポケットを利用してください。

### シーリング

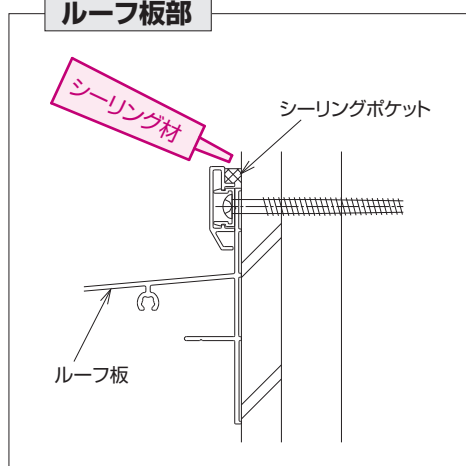
チェック⑥



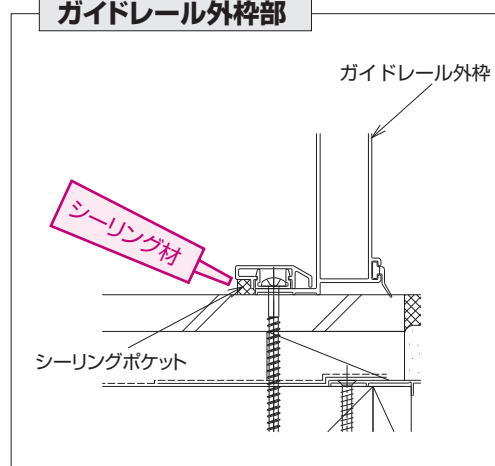
シーリングは必ず行ってください。  
行わないと雨漏りの原因になります。

壁付型「枠カバー仕様」

#### ルーフ板部



#### ガイドレール外枠部



## チェックシート

作業時、下記項目の確認をしてください。

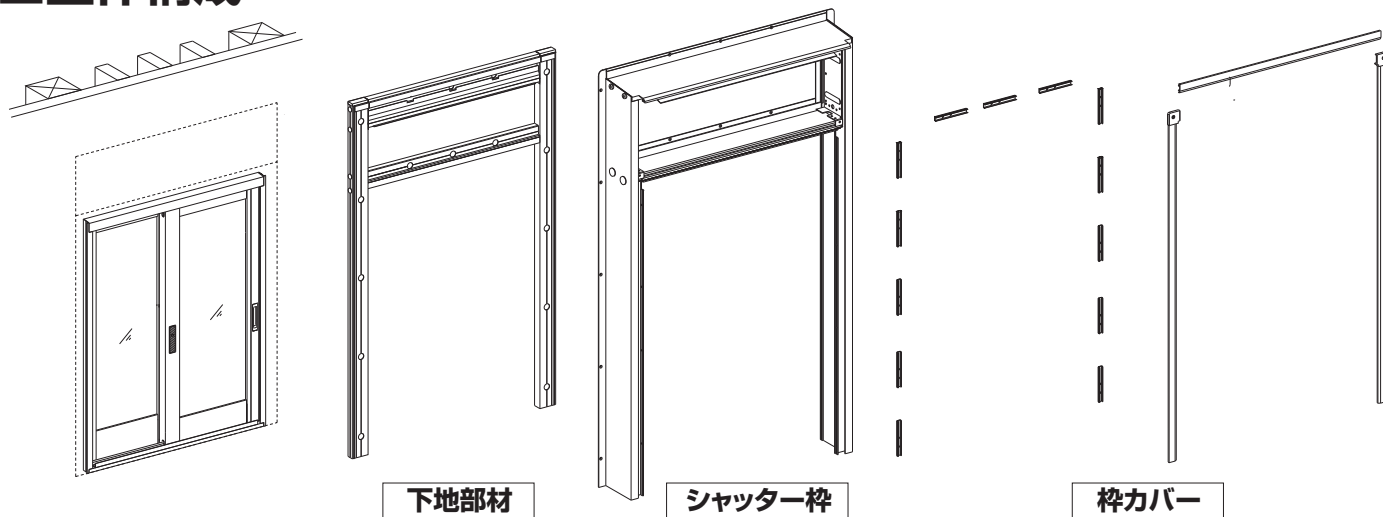
	項目	チェック欄
①	シーラーの位置ずれ・折れ曲がりはありませんか?	
②	トルク調整をしましたか?	
③	水平・垂直を正しく出しましたか?	
④	取付ねじを確実に柱に取付けましたか?	
⑤	ガイドレール外枠の外々寸法を確認しましたか?	
⑥	枠まわりのシーリングをしましたか?	



<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.

## ■全体構成



## ■同梱包部品一覧

表を参照のうえ、部材・部品の有無をご確認ください。  
また、表中の○印の番号は本文中の組立・取付図の番号と連動しています。

### シャッター枠

番号	①	②	③	④
姿 図				
品 名	中トラスタッピンねじ2種 (φ4×35)	穴塞ぎキャップ	皿木ねじ (φ3.1×25)	防水シート
品 番	<b>BM-4035GD8</b>	<b>K-33675</b>	<b>WF-3125</b>	<b>K-48847</b>
個 数	8	4	10~26	1
備 考	枠組立用		枠取付用	
	ねじ袋①		ねじ袋②	同梱包

## 👉 チェックシート

P.24にチェックシートとして、重要事項を記載しています。  
作業時、各項目の確認を必ず行ってください。

※壁付型では、位置決めブロックは使用しません。

### 枠カバー

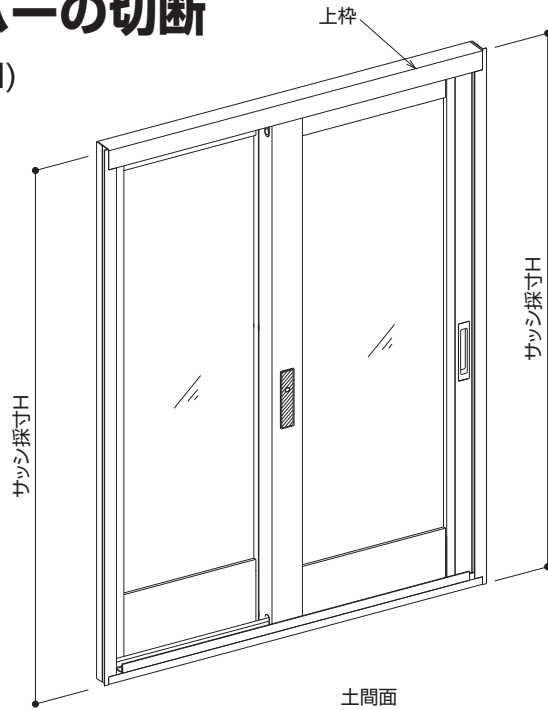
番号	⑤	⑥
姿 図		
品 名	枠カバー連結材	なべコーススレッドねじ (φ4.2×75)
品 番	<b>3K-19101</b>	<b>3K-19100</b>
個 数	9~20	10~26
使用箇所	枠カバー取付用	枠取付用
備 考	ねじ袋②	ねじ袋②

### 下地部材

番号	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
姿 図					
品 名	小トラスタッピンねじ2種 (φ4×70)	穴塞ぎキャップ	枠取付ブラケット	なべドリルねじ (φ4×13)	なべドリルねじ (φ4×13)
品 番	<b>BM-4070G</b>	<b>K-33675</b>	<b>3K-19102</b>	<b>2K-18715</b>	<b>2K-18715</b>
個 数	8	8	2	2	10~26
備 考	下地部材組立用	下地部材組立用	シャッター枠取付用	枠取付ブラケット取付用	枠取付用

## ■シャッター枠、下地部材、枠カバーの切断

- 1 サッシ上枠から土間面までの寸法(=サッシ採寸H)をサッシ両側共測定してください。

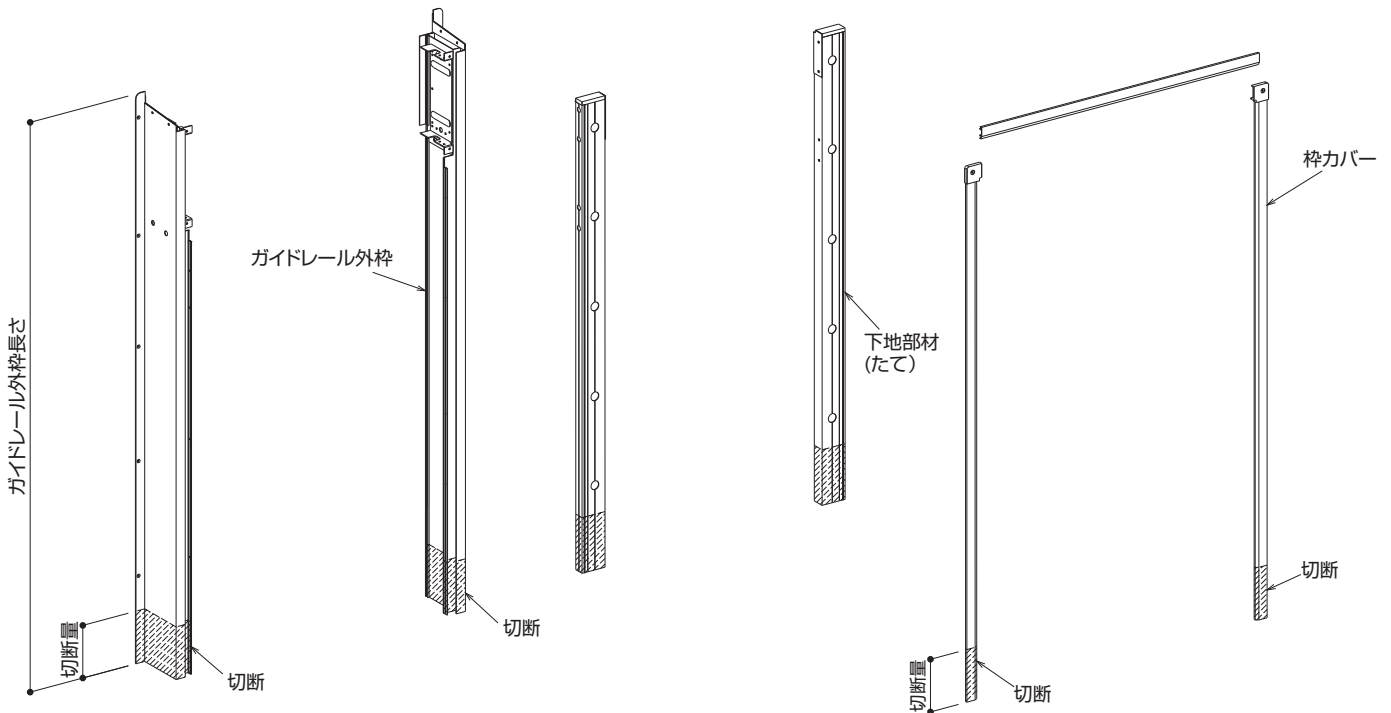


- 2 左右のガイドレール外枠をそれぞれ取付ける側の採寸Hを参考にして切断してください。

### ポイント

土間面に勾配がついている場合には、それに合せた角度で切断してください。

切断量  
=手配品のシャッターh寸法-サッシ採寸H-10  
または、  
切断量  
=ガイドレール外枠長さ-サッシ採寸H-270

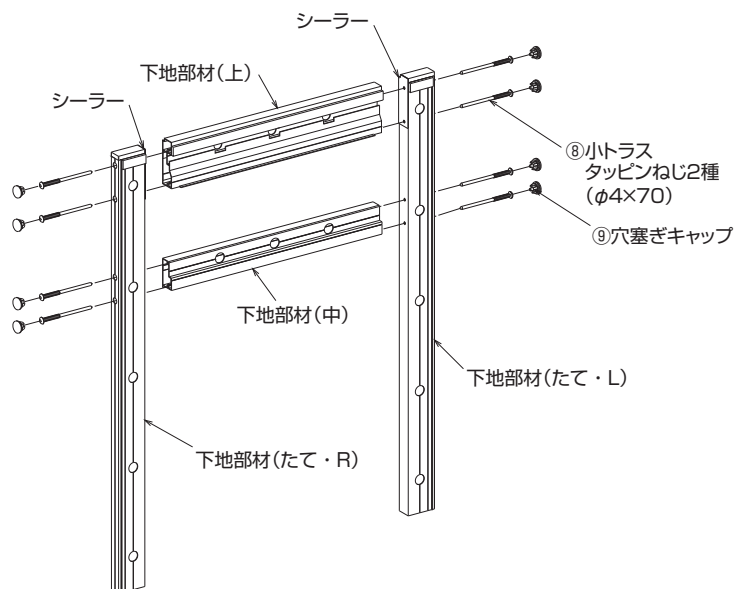


下地部材・枠カバーも同様に切断してください。

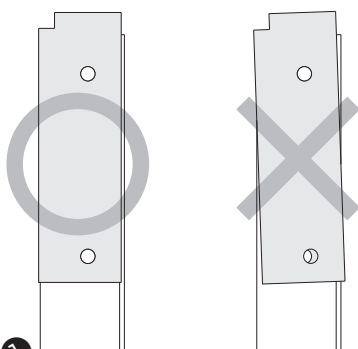
## ■下地部材の組立

- 1 梱包をはずし、枠部材を組上がり状態に並べ、組合せ部材・部品の有無を確認してください。
- 2 たて部材と横部材をぴったり合せ、適正なトルクでねじ止めをして組立ててください。

※室内側、室外側の向きを合せてください。(大きい穴φ17のあいている方が室外側です。)



### 注意

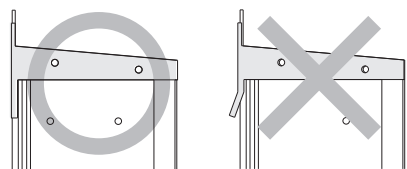


チェック① シーラーの位置ずれ、折れ曲がりがないこと。

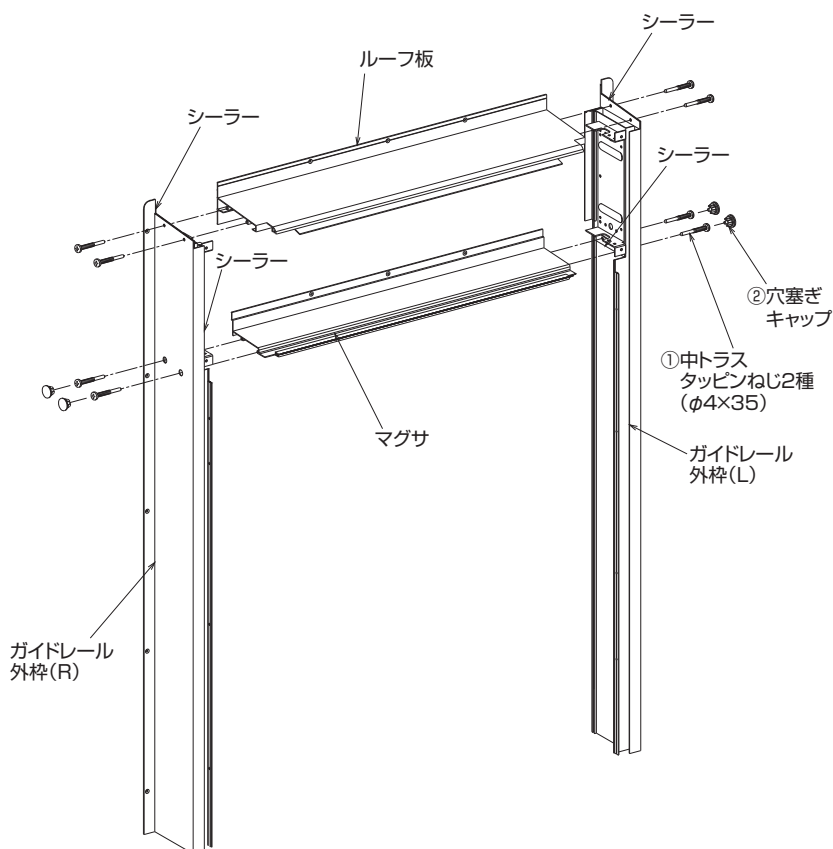
## ■シャッター枠の組立

- 1 ガイドレール外枠とマグサ、ルーフ板をぴったり合せ、適正トルクでねじ止めして組立ててください。

### 注意



チェック① シーラーの位置ずれ、折れ曲がりがないこと。



### 注意

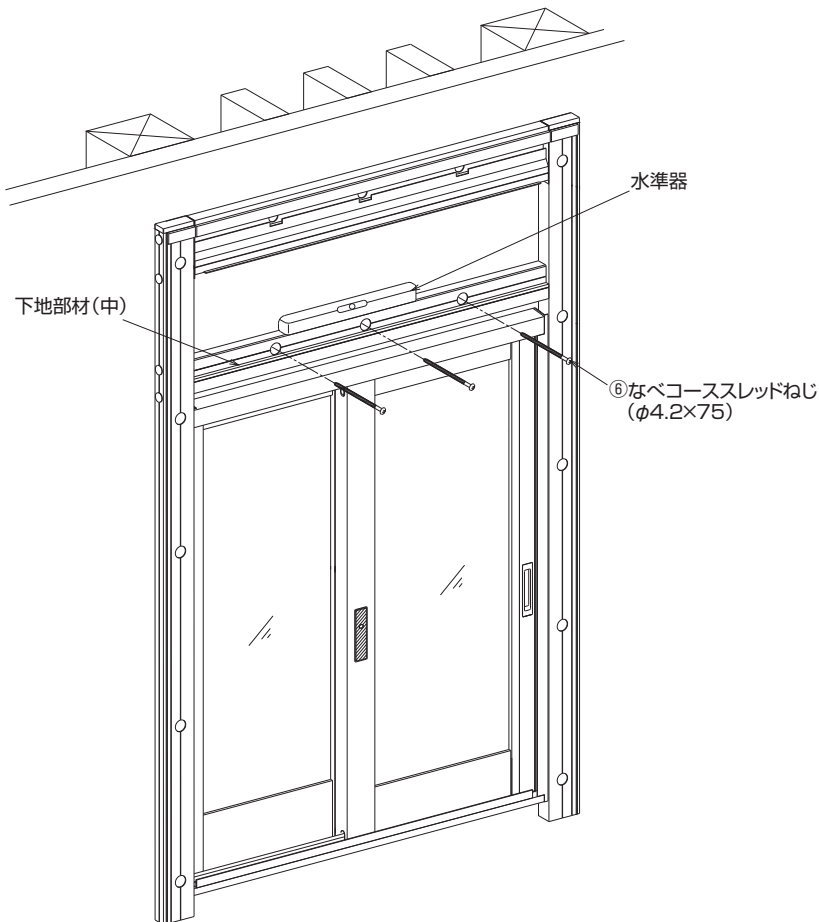
- シャッター枠組立・取付時、電動ドライバー・エアドライバー使用の際は、締め付けトルクは以下を目安に設定してください。  
下地部材、シャッター枠：2.0～2.5N・m(20～25kgf・cm)程度
- 金属サイディングの場合は、表面がへこまない程度まで締め付けてください。

チェック②



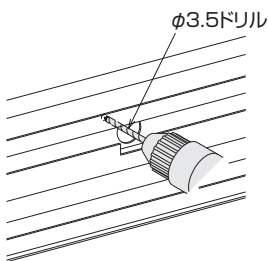
## ■下地部材の取付

- ① サッシ枠と下地部材の左右のすき間が均等になるように下地部材を土間の上に仮置きしてください。
- ② 下地部材(中)の水平を水準器で確認しながらねじ止めしてください。

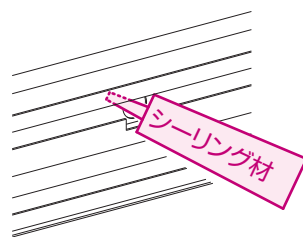


### 躯体へのねじ止め要領

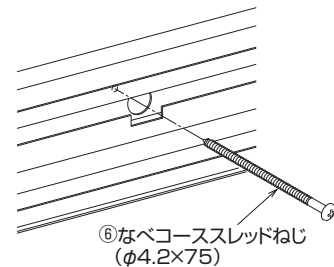
- ① 躯体にφ3.5ドリルで下穴をあけてください。



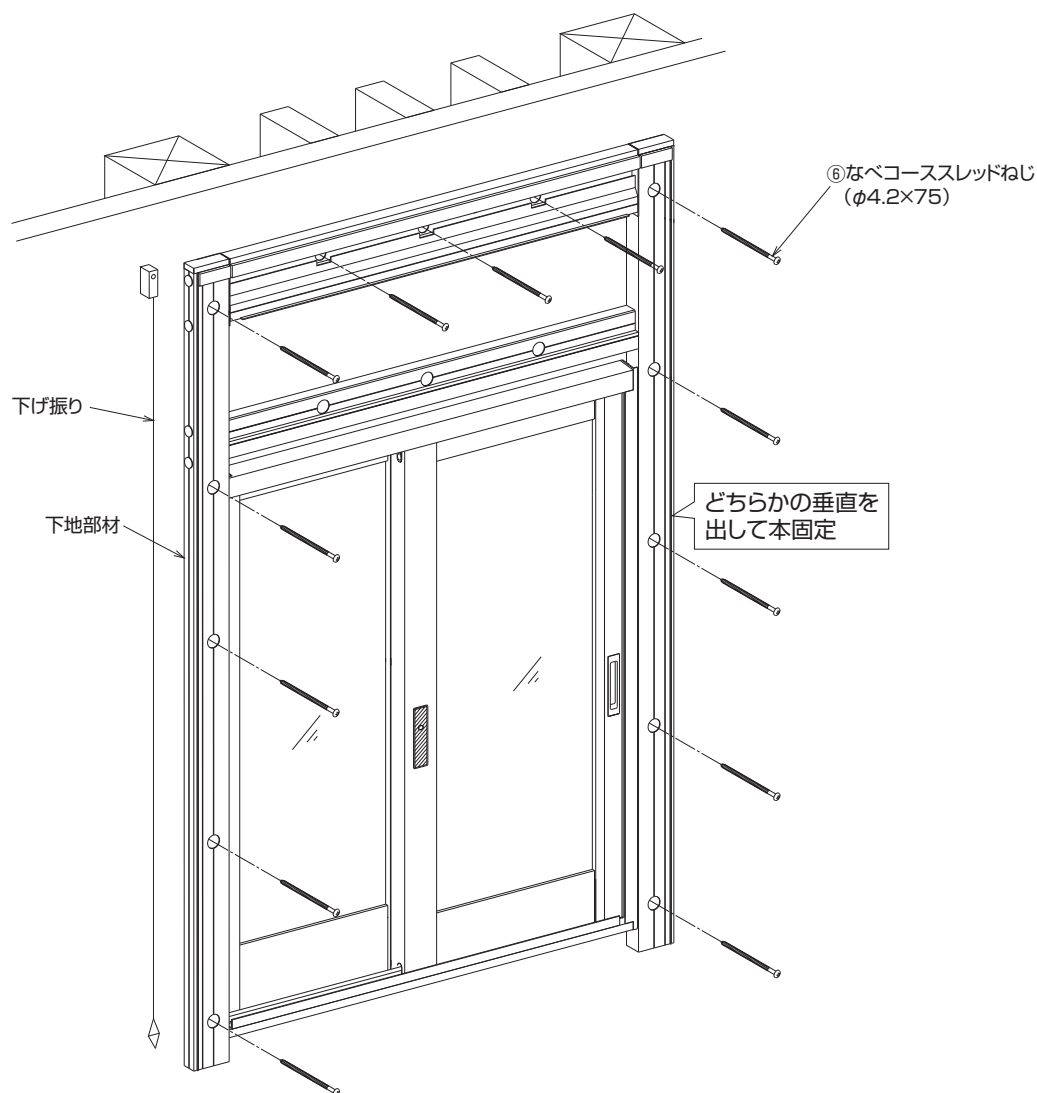
- ② 下穴にシーリング材を充てんしてください。



- ③ ねじ止めしてください。



- 3 どちらか一方の下地部材(たて)を下げ振り等を用いて垂直を出してねじ止めしてください。
- 4 下地部材(たて)の外々寸法を確認しながらもう一方の下地部材(たて)をねじ止めしてください。



### 注意



● 取付穴の位置に柱がない場合には、穴位置をずらすなどして、必ず柱に取付けてください。

● 下げ振り等で垂直を確認し、壁面と垂直になるよう、かいもの等で調整してください。



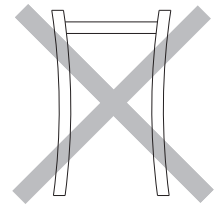
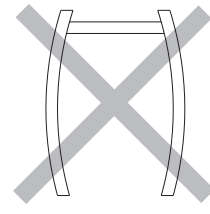
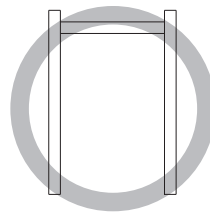
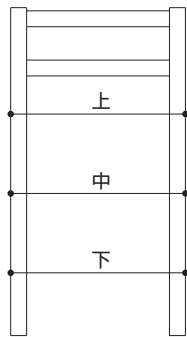
● 下地部材の水平・垂直が正しくないとシャッターの開閉に支障をきたします。特に注意してください。

チェック⑤



下地部材（たて）の外々寸法を上・中・下の3ヶ所測定し、その差が2mm以内であることを確認してください。そうでない場合は、再度取付け直してください。

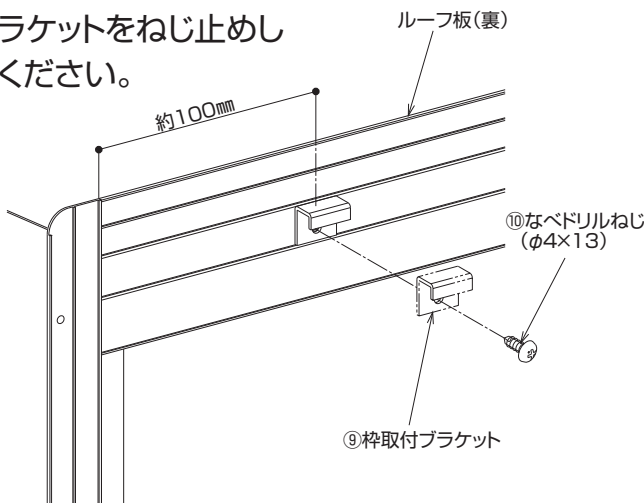
寸法が正確でないとシャッターの開閉に支障をきたしますので特に注意が必要です。



お願い

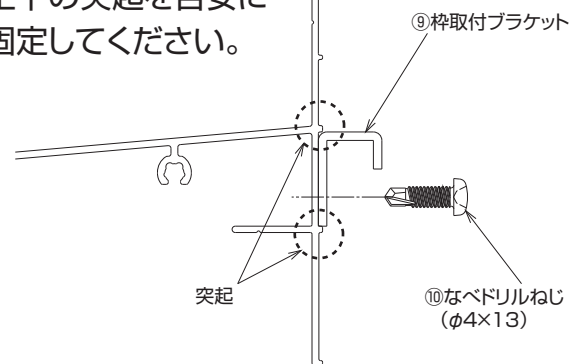
■ 枠取付ブラケットの取付

- 1 ルーフ板(裏板)に枠取付ブラケットをねじ止めしてください。



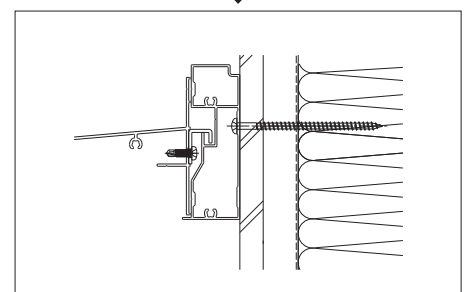
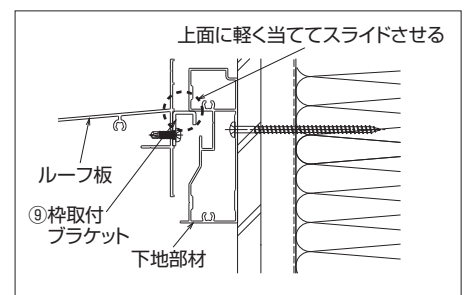
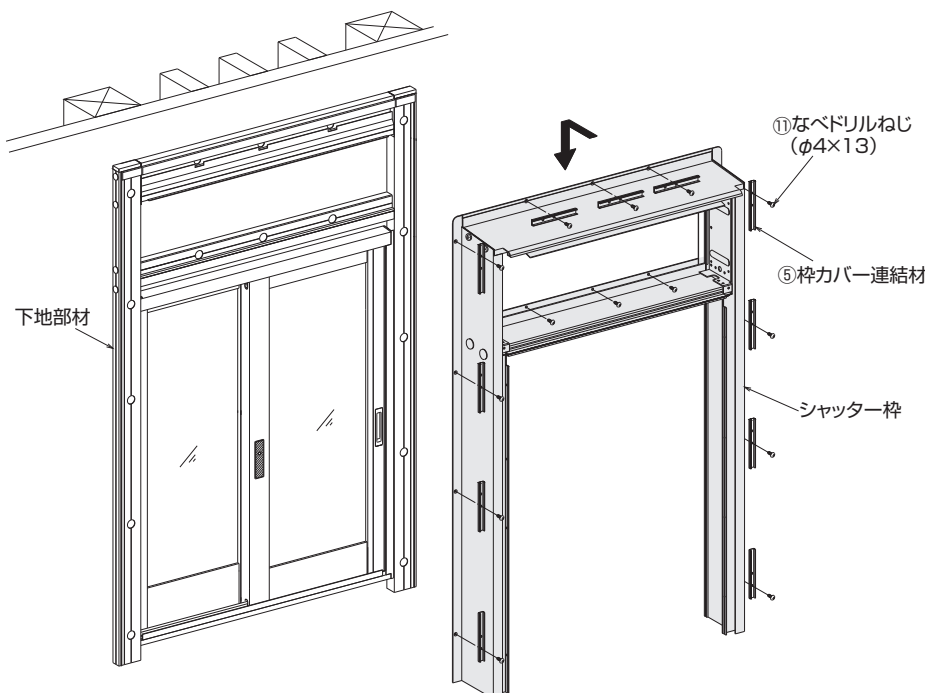
ポイント

上下の突起を目安に固定してください。



■ シャッター枠の取付

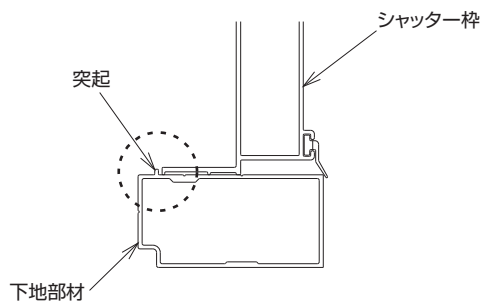
- 1 枠取付ブラケットを下地部材に引っかけて、シャッター枠を仮置きしてください。



2 シャッター枠の左右のチリを合せてください。

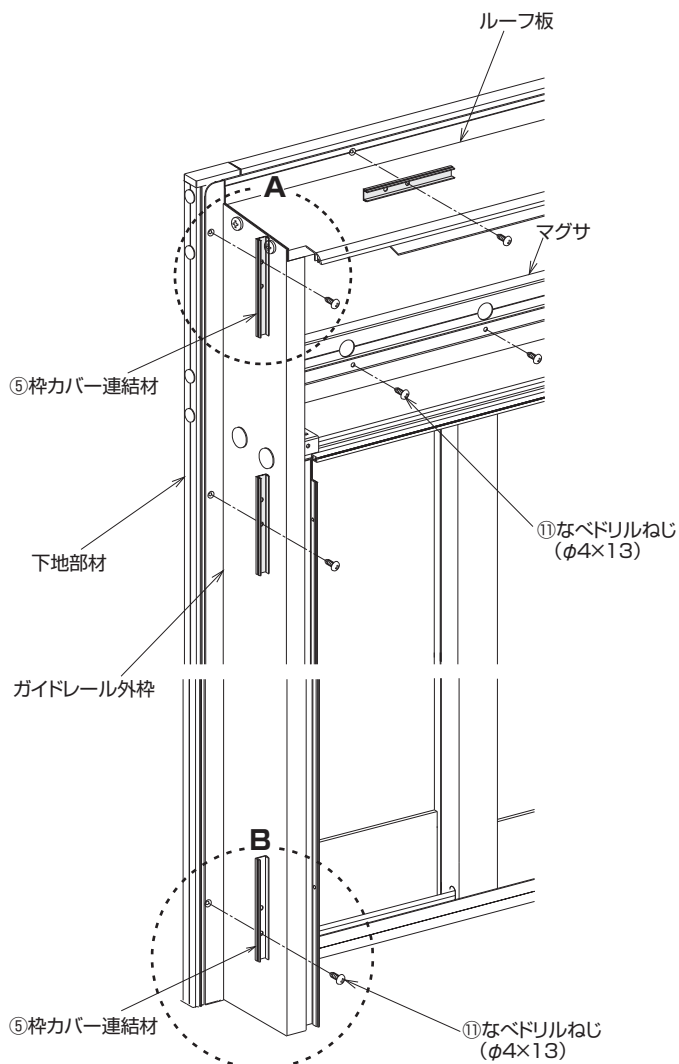
### ポイント

シャッター枠の左右の位置決めは、下地部材の突起を目安にしてください。



3 取付穴からケガキ溝が見えるのを確認しながら、その他の箇所をねじで下地部材に固定してください。

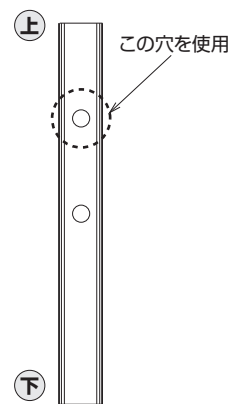
※この際、マグサ以外は枠カバー連結材と共締めしてください。



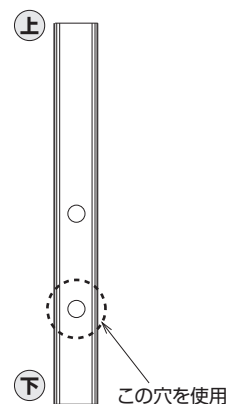
### ポイント

- 枠カバー連結材はヒレに沿ってまっすぐに取付けてください。
- たて上・下の枠カバー連結材は図のように取付けてください。その他は真中の穴を使用してください。

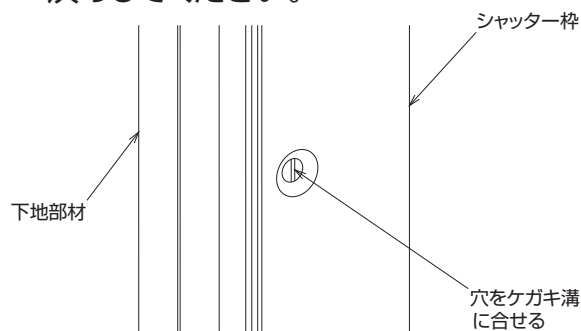
A(たて上部)



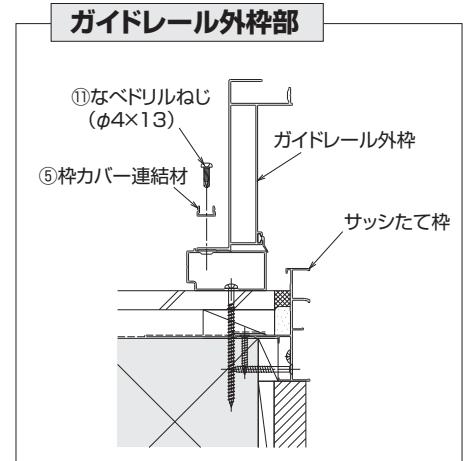
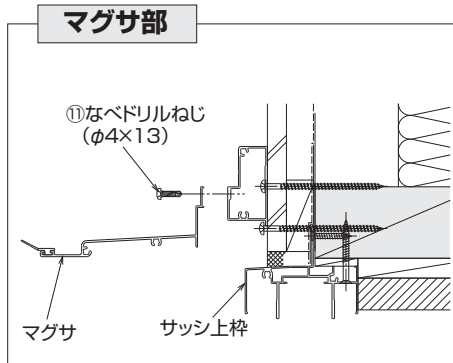
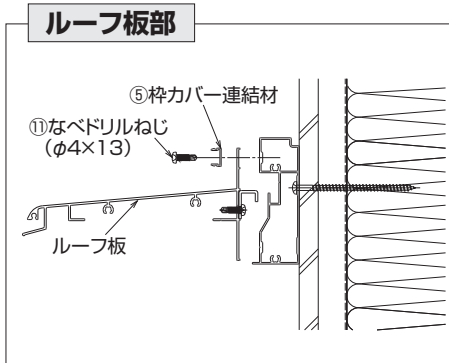
B(たて下部)



- ガイドレール外枠のヒレの穴加工から下地部材のケガキ溝が見えるように位置決めしてください。





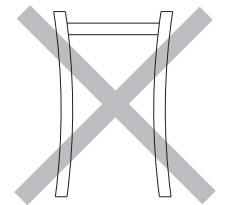
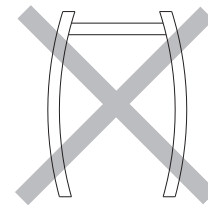
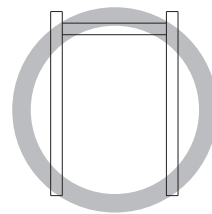
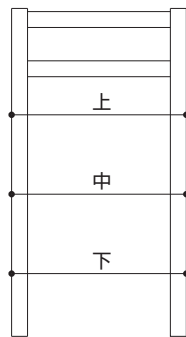


4 取付後、ねじのゆるみやがたつき、その他使用上危険な箇所がないか点検してください。

お願い

ガイドレール外枠の外々寸法を上・中・下の3ヶ所で測定し、その差が2mm以内になっているか確認してください。そうでない場合は、再度取付け直してください。

チェック⑤

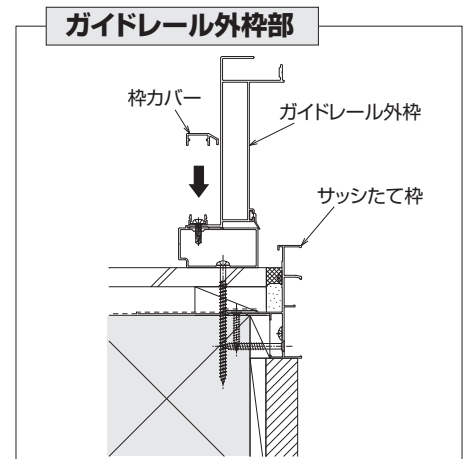
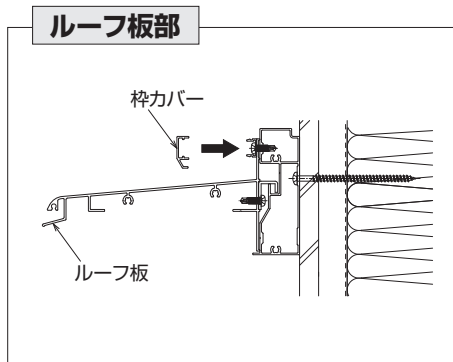
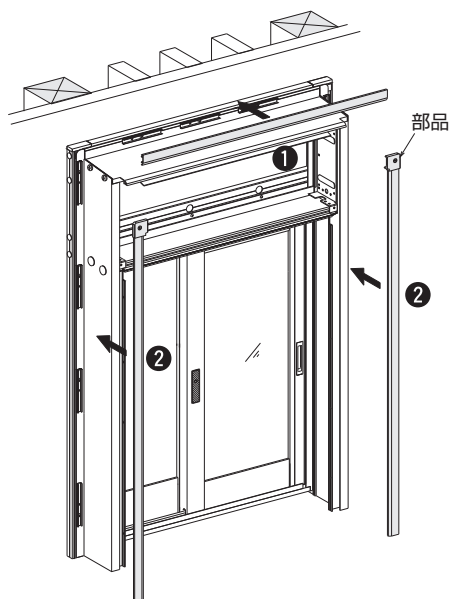


■ 枠カバーの取付

1 ①横カバー、②たてカバーの順に枠カバー連結材にはめ込んでください。

(たてカバーには部品が付いています。)

※横カバーは、左右のチリが均等になるようにしてはめ込んでください。



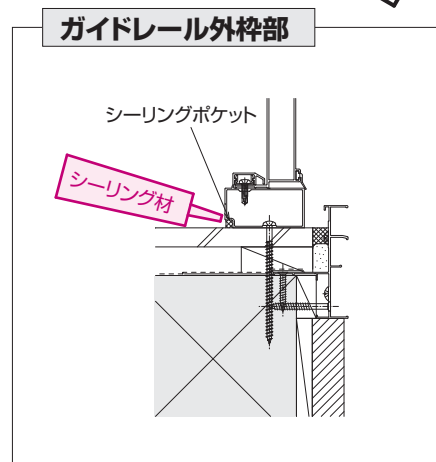
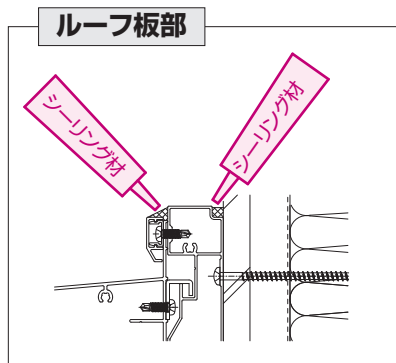
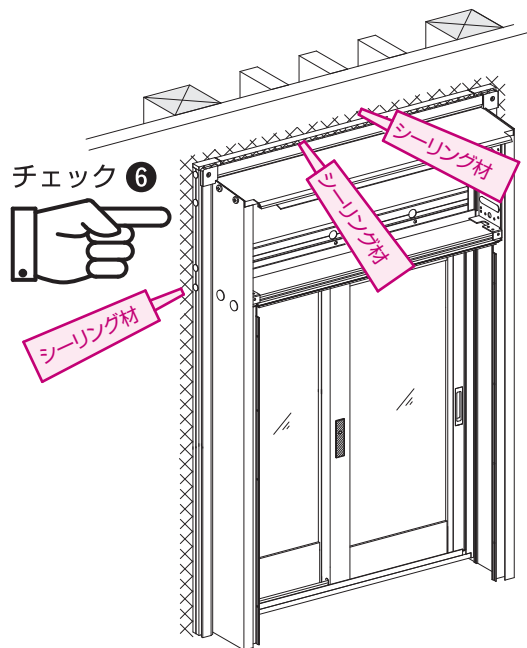
ポイント

枠カバーが確実に枠カバー連結材にはめ込まれたことを確認してください。

## ■ 枠まわりのシーリング

- ① きちんと接着するよう、枠まわりの下地処理(プライマー等)を十分に行ってください。
- ② 下地部材まわりをシーリングしてください。
- ③ 下地部材と枠カバーの取合い部をシーリングしてください。

※シーリングポケットを利用してください。



### シーリング

シーリングは必ず確実に行ってください。行わないと雨漏りの原因になります。



## チェックシート

作業時、下記項目の確認をしてください。

	項目	チェック欄
①	シーラーの位置ずれ・折れ曲がりはありませんか？	
②	トルク調整をしましたか？	
③	水平・垂直を正しく出しましたか？	
④	取付ねじを確実に柱に取付けましたか？	
⑤	ガイドレール外枠・下地部材の外々寸法を確認しましたか？	
⑥	枠まわりのシーリングをしましたか？	

<MEMO>

A series of horizontal dashed lines for writing a memo.

